

コミセンレポ

千客万来！第2回コミセンまつりが開催されました。

2015年2月15日9時45分、和自5校区の地域みなさんが参加した、『第2回コミセンまつり』が遂に開催されました。当日は晴天にも恵まれ、延べ人数ですが昨年を上回る約1700名の観覧客、参加者の方が来場されました。

オープニングの和太鼓演奏をかわきりに、ステージ発表や体験プログラムがコミセン全館で始まりました。出演、出店したのは約50団体。多くの地域のサークル

が集まり、また来場者も子どもからシニア世代、家族連れなど多世代が集まる地域交流会となりました。そして着々と進行は進み、15:00には多目的ホールでの、観客席からの飛び入りも交えた賑やかなひょっこり踊り、そして閉会挨拶で無事フィナーレを迎えました。地域のみなさまがつながる、とても素敵な1日になりました。コミセンわじろはこれからも、地域のみなさまのつながり、ネットワークづくりを応援していきます。

地域がつながるための情報は！

気になる参加サークルについては、事務局のコミセンわじろまでどうぞ！



コミセン活用術

活動紹介にも使える！ デジタルサイネージ編

2F入口に設置してあるデジタルサイネージ(電光掲示板)をご覧になられたことはありますか？コミセンの施設情報はもちろんのこと、当日の利用状況をメインとして、今後開催されるイベントなど2ヶ月分の予定をお知らせしています。ほかにも、和自5校区の活動や施設などについての情報も掲載しています。最近では福岡県警さんのご依頼で「STOP! 振り込み詐欺!」のお知らせを掲載するな

ど、その取り扱い範囲も広がりを見せています。ご来館の際は足を止めてご覧になられてみてください。きっとお役立ちする情報を見つけられますよ。

また地域で活動されているみなさんの情報も掲載できます。「掲載したい情報がある」「流してくれないかな」という方は、お気軽にご相談ください。掲載については公共の情報であること、営業でないことなどのルールを守っていただく必要があります。

今回の活用ポイント

- ◎ イベント情報をチェックできる
- ◎ サークルなどの情報を発信できる



コミセンわじろ

WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

wajico

[ワジコ]

vol. 08

2015 Spring

pick
up

わじろじまん 新しくなった「美和台中央公園」

わじろ元気印 「がん」は怖くない。





わじろじまん

和白5校区の伝えたい「誇り」をご紹介します

住民も一緒になって考えた 新しい美和台中央公園

今回紹介するのは、昨年3月に大規模改修工事を終えた美和台中央公園です。学校と幼稚園に隣接している立地の良さに加えて、見通しの良いレイアウト、ゆっくりと腰を掛けられるベンチなど、地域の方々が利用しやすい公園として人気です。改修にあたっては地域住民の意見を取り入れるために勉強会やワークショップを開催。福岡市と住民と一緒に、残して欲しい木々や、公園の利用方法や活用について幅広く意見を集め、野外ステージの新設など公園の改修に活かしました。福岡市のワークショップが終了した後も、校区住民で美和台・和白丘プロジェクト「美和台中央公園でなんかしょっか？」を立ち上げ、プチ野外イベントや学習会などを計4回行いました。

待ちに待ったスライダー

およそ1年をかけて行われた改修工事、小学校と幼稚園の隣にある公園の改修はみんなが気になる大きな話題となりました。公園の愛称を募集したところ、新設されたスライダーを見た女の子が応募した「スライダー公園」に決まり、夕方になるとスライダーを目当てに遊びに来た子どもたちの元気な声が聞こえてきます。散歩コースの途中で公園に寄る方も多く、近くのデイケアをご利用の方は「ゆっくり座ることもできる、気持ちのいい公園だから」と毎日のように利用されています。近所の方々も何かのついでに公園に立ち寄っては、お友達とするおしゃべりが楽しみです。自分たちの公園という意識が高いからか、公園を歩くとゴミを拾って帰る方が多くみられ、「自



この人に聞きました！
井上 勝子さん
美和台・和白丘プロジェクト代表

分たちの公園」という意識が高いように感じます。

地域で愛される公園になりました

今回お話を聞いた美和台・和白丘プロジェクト代表の井上勝子さんは「若者がギターの練習をしていたり、高齢者の方がお散歩に来たり、子どもたちがお弁当を持って遊びに来たりと、幅広い世代の人たちが公園に集まってきてくれています。美和台には芸達者な方々も多いので、公園の活用が増えると嬉しいですね。」と公園を自慢してくれました。

春には楽しいイベントを開催

3月29日(日)には自治協主催の「第



①子どもたちに人気のスライダー。／②地域行事としても清掃活動を行っている。
③新しく設置されたアスレチック遊具。

1 回美和台中央公園さくらまつり」が行われます。ステージ発表やバザーなど楽しいお花見になりそうです。詳しくは美和台公民館(092-607-0294)にお問い合わせください。



△エリアマップ(西鉄三苦駅から徒歩10分)



地域 〇〇 団体

わじろ元気印

この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報

「がん」は怖くない。 みんなで治す、そのために。

今回紹介するのは、三苦校区を拠点として活動する NPO 法人キャンサーサポートさんです。活動の内容は「がん患者支援・啓発」です。具体的には体験者やその家族が不安や悩みを解消、軽くするケアやサロンづくり、がん教育を通して小学生などの子どもたちに「生きる」ことの大切さを伝えるなどの活動を精力的に行っています。今回は代表理事の宮部治恵さんに、お話を聞きました。

活動をはじめたきっかけは？

「福岡には 7 年前に移り住んだんですが、それまでに私自身は 2 度のがんの闘病をしています。そのたびに仕事の同僚や、私と同じくがんと向き合い続けた患者さん、医師の方々など周りの人に助けられながら、なんとかがんを克服することができました。『私たちは生かされているんだ、ならば何かをしなければ』という想いで、その支援の輪を広げるために団体をつくって活動を始めました。」

特徴はどんなところでしょう？

「最近では東区の小中学校を中心に『いのちの授業』と題した、闘病体験や命の大切さを小学生に教える活動が広がっています。実際にがんを体験された方々の



体験談を聞いたり、和白病院のスタッフによる専門的なレクチャーもまじえたりしながら、子どもたちに病気と向き合うこと、命の大切さを教えています。この活動が好評で、学校さんや地域の公民館さんなどでの講演の機会が増えて来ます。」

今後の活動を教えてください

「がんという病気は『怖いもの』『治らない』というイメージが根強い。でも早く見つければ怖くない病気ですし、治すために周りのサポートがとても大切なんです。地域の方々、お隣さんの理解も協力

も必要だったりします。多くのみなさんが体験したり、身近に同じ様な悩みを持った人はいらっしやるんです。その方々が話せるサロンづくり、居場所づくりなどを今後もやっていきたいですね。」



この人に聞きました！
NPO法人キャンサーサポート
代表理事
宮部 治恵さん

☎092-986-3526 (宮部)
活動に興味がある方はお問い合わせください。



応援課だより

パネル展示もできる 市民ギャラリー

最近では「こんな作品はどうなんだろうか」「こんな展示はできますか？」という相談も増えている市民ギャラリー。

絵だけではなく紙細工や編み物、刺繍作品などの展示を行っています。いろいろな展示方法を準備していますので、「私の作品も展示できるの？」と思いの方は、まずはご相談ください。また、芸術作品に限らず、例えば NGO の活動記録のパネル展示なども可能です。

まずは市民ギャラリーでどんな展示ができるのかや、どんな準備をしたらいい

のかなどご相談ください。全く初めての展示でも、問題ありません。お気軽に応援課までお越しください。

応援課に聞いてみたい方はコチラまで
☎092-608-8480 (コミセンわじろ)
相談員・スタッフが対応いたします。
まずは日程調整から、お気軽にお電話ください。